

敬老乗車証制度のあり方検討に向けた アンケート調査の実施について

1 概要

敬老乗車証制度については、令和 4 年 3 月に策定した「仙台市役所経営プラン」において、高齢者人口の増加を踏まえ、今後も持続可能な制度とするため、そのあり方を検討していくことにしている。このたび、検討を進めるにあたり、敬老乗車証の利用に対する意識や利用実態等を詳細に把握することを目的として、市内に居住の 60 歳以上の方約 4 千人を対象にしたアンケート調査を実施する。

2 対象者

市内に居住の 60 歳以上の方 4,100 人（無作為抽出）

※敬老乗車証の利用者の方のほか、敬老乗車証を利用していない方やこれから制度の対象となる方を含む。

3 調査方法

7 月 1 日（金）に、本市から対象者の方にアンケート票を郵送済み。対象者の方には、アンケート票に回答を記入していただき、同封する返信用封筒（受取人払）で 7 月 31 日（日）までに返信していただく。

4 主な調査内容（質問項目）

調査依頼文は資料 2 - 2、調査票は資料 2 - 3 のとおり。

- (1) 回答者の属性（同居者の有無、最寄りの交通機関の駅・バス停等までの距離等）
- (2) 利用実態（敬老乗車証の利用目的、頻度、移動手段等）
- (3) 敬老乗車証の未利用・未交付の理由
- (4) 利用者負担への意識（負担割合、利用上限額等）
- (5) 制度を利用しやすくするための改善点

5 その他

- (1) 敬老乗車制度に関する市政モニターアンケートのほか、子育て世代や若者等を対象とした WEB アンケート調査を別途行う予定。
- (2) 令和 5 年 3 月を目途に上記アンケート調査結果や敬老乗車証の利用者データの分析結果等を取りまとめ、本分科会へ年度内に報告予定。